

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
消防団活動事業	消防本部	消防総務課	警防班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
消防団員実員数	人	385	375	390	378	390	
年間訓練等出動人員	人	1,300	1,275	1,300	1,196	1,000	

評価	平成30年度	事業効果	効果があった
		判断理由	年間訓練等を通して、技術や資質の向上に繋がり災害現場での消防団活動の向上が図られた。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	消防団員の訓練等により団員の士気高揚、資質及び技術の向上が図られる。消防団活動を安全円滑に実施するには事業の継続は必須である。 訓練を通して、災害における被害の軽減を図り、市民の防災意識の高揚及び消防団員の必要性を周知し、消防団員の増員を図る。
	令和元年度	事業効果	効果があった
		判断理由	年間訓練等を通して、資機材の取扱い、技術や資質の向上に繋がり、災害現場において消防団活動の向上が図られた。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	消防団員の訓練等により、団員の士気高揚、技術や資質の向上が図られるとともに消防団活動を安全円滑に実施するにあたり事業の継続は必須であります。 訓練を通して、災害における被害の軽減を図り、消防団活動を通じて市民の防災意識の高揚及び消防団員の必要性を周知し消防団員の増員を図る。
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
消防団総務事業	消防本部	消防総務課	警防班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
消防団員実員数	人	385	375	390	378	390	

評価	平成30年度	事業効果	効果があった
		判断理由	各分団に対し、消防団活動で必要となる被服等(活動服・編上げ靴・アポロキャップ)及び安全を確保するための装備品等(ヘルメット・防火衣一式)を貸与することにより、消防団員が安全かつ円滑に任務ができるように活動環境の向上が図れた。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	地域防災力の充実強化につながったため、今後も事業を継続し消防団員の必要とする被服や装備品等の貸与や団員への報酬、費用弁償の支給など、活動環境の向上及び処遇改善を図る。また、今後は女性消防団員の入団や機能別消防団の導入などを検討し、消防団員の人員確保及び増員に努める。
	令和元年度	事業効果	効果があった
		判断理由	各分団に対し消防団活動で必要となる被服等(活動服・編上げ靴・アポロキャップ)を貸与することにより、消防団員が安全かつ円滑に任務ができるように活動環境の向上が図れた。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	地域防災力の充実強化につながったため、今後も事業を継続し消防団員の必要とする被服や装備品等の貸与や団員への報酬、費用弁償の支給など、活動環境の向上及び処遇改善を図る。
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
消防本部庁舎改修事業	消防本部	消防総務課	庶務管理班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
第四次実施計画	工事改修箇所数	箇所	1	1	1	1	
	年間電気使用量の月平均値	kWh/月	16,000	17,317	16,000	11,983	13,000

評価	平成30年度	事業効果	効果があった
		判断理由	消防本部庁舎空調・照明設備等改修工事設計委託を実施したほか、北分署の空調設備を高効率型に改修したことにより、防災拠点としての機能強化はもとより、環境やコスト面でも負荷軽減を図ることができた。
		実績値を踏まえた今後の方針	追加等更に発展させる
		今後の方針の理由及び今後の予定	災害時に防災拠点としての機能を最大限発揮できるよう、庁舎改修計画による施設や設備等の改修を進めていかなければならない。令和元年度には、消防本部庁舎空調改修工事の実施を予定しており、防災拠点としての更なる機能強化を図る。 なお、予算化に至らなかった計画事業については、実施に向けて計画内容等の見直しを図っていく。
	令和元年度	事業効果	効果があった
		判断理由	消防本部庁舎の空調設備及び照明設備を高効率型に改修したことにより、施設の長寿命化、防災拠点としての機能強化はもとより、環境やコスト面でも負荷軽減を図ることができた。
		実績値を踏まえた今後の方針	追加等更に発展させる
		今後の方針の理由及び今後の予定	空調設備及び照明設備を高効率型に改修しビルエネルギー管理システムを導入した。このことにより空調設備使用状況の情報化が可能となるため、これを活用しコスト削減の目標値を高め、負荷軽減を継続していく。 また、令和2年度に女性専用施設の整備を予定しており、年度内に女性専用施設整備工事を完了させ、女性消防吏員の労働環境の改善及び当直勤務体制の確立を図る。
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	